

生活交通確保維持改善計画(案)
(地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)

(策定年月日) 平成 27 年 6 月 日
(策定団体名) 岡 崎 市

生活交通確保維持改善計画の名称					
平成 28 年度岡崎市地域内フィーダー系統確保維持計画					
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性					
<p>額田地域は中山間地域であり、通院、通学、買物など地域住民の日常生活の移動手段として、地域内のほか地域間交通ネットワークとの接続による広域的な交通手段の確保が必須である。そのためには、乗合タクシー等を運行することが必要である。</p> <p>これまでに、岡崎市は平成 20 年度からの 3 年間、交通拠点間バスの実証運行を行いつつ、交通不便地域である額田地域においては地域の特性に見合った持続可能な生活交通とするため、地域が主体となり運行計画等を取りまとめ乗合タクシー等の実証運行を行った。平成 23 年度からは本格運行に移行し、3 年を運行期間と区切り、次の運行計画の再編に向けて地区協議会等と協議を進め、地域が中心となって利用実態等に合わせた運行案の作成や、地域住民へ新運行の周知を行い、平成 26 年 10 月から新たな運行を開始している。</p>					
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果					
(1) 事業の目標					
路線名	H26 年度実績 利用者数 (人) (H26.10~ H27.3)	H28 年度目標 利用者数 (人) (H28.4~ H29.3)	H29 年度目標 利用者数 (人) (H29.4~ H30.3)	H30 年度目標 利用者数 (人) (H30.4~ H31.3)	備 考
額田支所 市民病院線	4,027	8,067	8,067	8,067	利用者数現状 以上
下山地区線	1,854	3,806	3,806	3,806	
宮崎地区線	220	446	446	446	
形埜地区線	477	989	989	989	
豊富・夏山 地区線	245	500	500	500	
合 計	6,823	13,808	13,808	13,808	
<p>・平成 26 年 10 月から新運行を開始したため、実績利用者数は平成 26 年 10 月から平成 27 年 3 月までの期間としている。</p> <p>・実績利用者数の 1 日あたりの利用人数を算出し、平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの運行日数を乗じたものを目標利用者数としている。</p>					

(2) 事業の効果

中山間地域である額田地域の乗合タクシー等を維持することにより、当該地区に居住する地域住民の日常生活を支える移動手段が確保され、地域間交通ネットワークとの接続により市街地への広域的な移動手段も確保される。

また地域住民が主体となり、老人クラブ活動時のバス利用、バス&サイクルライドによる高校通学のバス利用、高齢者定期券購入費の 1 割を地域で助成する等、利用促進を図っていくことで、地域住民のマイバス意識が更に深まり、地域の生活交通の確保維持が図られる。

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

○運行系統の概要及び運行事業者

運行系統名	系統区間	運行事業者
額田支所市民病院線	額田支所前⇄ちせい台公園⇄市民病院	名鉄バス(株)
下山地区線 A	桃ヶ久保⇄市民病院⇄岡崎げんき館前	豊栄交通(株)
下山地区線 B	北部診療所⇄桃ヶ久保⇄市民病院⇄岡崎げんき館前	
形埜地区線 (南大須・鍛埜コース)	北部診療所⇄南大須公民館⇄須淵橋⇄麻生公民館⇄北部診療所	(株)西三交通
形埜地区線 (切山・小久田コース)	上一色平⇄赤田和公民館⇄小楠⇄北部診療所	
形埜地区線 (毛呂・井沢コース A)	うつぎ⇄北部診療所⇄本郷⇄北部診療所	
形埜地区線 (毛呂・井沢コース B)	北部診療所⇄本郷⇄北部診療所⇄うつぎ⇄北部診療所	
宮崎地区線	宮崎小学校⇄宮崎学区市民ホーム前⇄十王堂前⇄ナカシバ電工前⇄東河原口⇄高雲寺⇄木下公民館⇄千万町上⇄宮崎学区市民ホーム前	岡東運輸(株)
豊富・夏山地区線 (夏山・鳥川コース A)	額田支所前⇄平針⇄寺野⇄星野医院⇄ハズノモト⇄星野医院	
豊富・夏山地区線 (夏山・鳥川コース B)	星野医院⇄寺野⇄平針⇄額田支所前⇄星野医院⇄ハズノモト⇄市道	
豊富・夏山地区線 (鳥川コース)	市道⇄ハズノモト⇄額田支所前⇄星野医院	

○ 運行事業者の選定について

額田支所市民病院線は、現在名鉄バス(株)が運行している路線であり、市の公共交通ネットワークの一部として位置づけられている。当該路線に接続する他の公共交通ネットワークも名鉄バス(株)が運行しており、交通系 IC カード利用や乗継割引等のサービスを提供している。公共交通ネットワーク全体のサービスの利便性を高めるため、当該路線にも同一のサービスが提供可能な名鉄バス(株)を選定した。

その他の路線については、平成 25 年度中においてプロポーザル方式により運行事業者を選定した。

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

○確保維持事業に要する費用（経常費用－経常収益）

区 分	維持事業に要する費用（経常費用－経常収益）（千円）		
	平成 28 年度 (H27. 10～H28. 9)	平成 29 年度 (H28. 10～H29. 9)	平成 30 年度 (H29. 10～H30. 9)
費 用	42,169	42,270	42,154

○費用の負担

確保維持事業に要する費用から国庫補助金額を差し引いた金額を岡崎市が負担する。

5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

- 名鉄バス株式会社
- 豊栄交通株式会社
- 株式会社西三交通
- 岡東運輸株式会社

6. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

- 対象地域・・・旧額田町区域全域（山村振興法に基づく振興山村）
- 対象地域の人口・・・8,421人（平成27年4月 住民基本台帳）

7. 協議会の開催状況と主な議論

- 平成25年6月21日 平成25年度第1回岡崎市交通政策会議を開催
額田地域の運行計画再編に関する市の考え方、再編スケジュールの説明
- 平成25年10月7日 平成25年度第2回岡崎市交通政策会議を開催
運行計画再編に関して地域住民が考えた運行計画再編案の説明
- 平成26年1月24日 平成25年度第4回岡崎市交通政策会議を開催
地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について協議
- 平成26年3月26日 平成25年度第5回岡崎市交通政策会議を開催
平成26年10月から開始する額田地域乗合タクシー等の運行について地域公共交通会議として協議及び合意
- 平成26年6月17日 平成26年度第1回岡崎市交通政策会議を開催
生活交通ネットワーク計画について協議及び合意
- 平成27年1月23日 平成26年度第3回岡崎市交通政策会議を開催
地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について協議
- 平成27年3月27日 平成26年度第4回岡崎市交通政策会議を開催
岡崎市乗合タクシー等「下山地区線」運行計画の変更について協議及び合意
平成27年度生活交通ネットワーク計画の変更について協議及び合意
- 平成27年6月22日 平成27年度第1回岡崎市交通政策会議を開催
生活交通確保維持改善計画について協議

8. 利用者等の意見の反映状況

岡崎市交通政策会議の構成員として、市民及び利用者代表の参画を得ており、交通政策会議の場において意見を聴取してきた。また、地区ごとに開催された地区協議会等においても、利用促進策等も含め地域公共交通を確保維持するための意見を聴取した。聴取した意見をもとに、地域が中心となって利用実態等に合わせた運行案の作成を行い、平成26年10月より新運行を開始している。

新運行開始後、地区バス委員と市が連携して作成したバスの利用促進に関する案内チラシを地域住民へ配付するなど、バス利用の促進に向けた地域活動を展開している。

加えて、住民から地区協議会へ市街地便の増便要望があり、地区協議会としても市街地便を活用した新たな利用促進策を実施することとし市街地便を増便した運行に変更した。

9. 協議会メンバーの構成員

学識経験者	愛知工業大学客員教授 名城大学教授
市民及び利用者代表	岡崎市総代会連絡協議会 岡崎市老人クラブ連合会 岡崎市障がい者福祉団体連合会 岡崎商工会議所 岡崎市六ツ美商工会 額田地域生活交通協議会
交通事業者等	名鉄バス株式会社 名鉄東部交通株式会社 名古屋鉄道株式会社 愛知環状鉄道株式会社 公益社団法人愛知県バス協会 愛知県タクシー協会岡崎支部
地方運輸局	中部運輸局 愛知運輸支局
交通施設管理者等	愛知県西三河建設事務所 愛知県警察岡崎警察署
関係都道府県	愛知県振興部交通対策課
関係市区町村	岡崎市
その他会長が必要と認める者	豊栄交通株式会社 株式会社西三交通 岡東運輸株式会社

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）愛知県岡崎市十王町二丁目9番地

（所 属）岡崎市都市整備部交通政策室

（氏 名）成瀬 泰樹

（電 話）0564-23-6486

（e-mail）kotsu@city.okazaki.lg.jp